

2019

9

September Vol.42

JALまねびより

今月の特集 島根のいいもの再発見!! 「飯南町 パプリカ」 雲南地区本部



日本武尊

飯南高校 神楽愛好会

Naomichi 

 JALまね いわみ中央地区本部版



島根には誇れる農産品がたーっさん!

島根のいいもの 再発見!!

直撃・生産者インタビュー

飯南町 パプリカ

9月は、雲南地区本部。飯南町で、パプリカの生産に取り組む中野良介さんにお話を伺ってきました。

都会から田舎へ移住

中野さんは元々神戸でサラリーマンとして働いていましたが、「当時は仕事に対して特にやりがいを持ってず、ただ何となく生きていた」と振り返ります。気づけば30代も半ばになり、このままの生活に疑問を感じ始めた頃、以前から『田舎で農業をしたい』という妻の言葉にだんだん共感していき、移住先を探し始めました。インターネットで全国中の田舎を隈なく探していたところ、妻が「ここはどう?と見せてくれたのが飯南町でした。もちろん行ったこともなく、縁もゆかりもない地でしたが、役場に電話し、とりあえず一度見学に行くこと



お話をお伺いした中野良介さん。

に。初めて訪れた際、担当職員の対応や目の前に広がるロケーションを見てすぐに気に入り、2012年、妻と子ども2人の家族4人で飯南町へ移住しました。

充実した農業研修制度と地域の関わり

飯南町ではUターンして自営就農を目指す人に、研修先の紹介や空き家の斡旋、研修中の生活費の支給など手厚い支援を行っています。その充実した制度があったことも、中野さんが飯南町を選んだ理由のひとつ。2年間の研修期間中には、研修先農家でパプリカ、メロンなどの栽培をしながら、初めて携わる農業の知識を身につけていきました。師匠からは苗の植え方から農機具の使い方などの基本的な技術はもちろん、「消防団への参加、近所の葬式の手伝い、祭りの担い手」など、この地域で生きていくために大切なことを一から教わりました。最初は戸惑いながらも言われた通り参加していましたが、だんだんと地域の人との関わりが深くなり、今ではしっかりと信頼関係を築けるまでに。おかげで、近所の

自営就農スタート

農家さんに気軽に質問できたり、農地を探している時に声を掛けてもらえたりと、「この地域の一員」として助けてもらうことが増えたそうです。

研修を終え、「中野あおぞら農園」として自営就農をスタート。当初はパプリカを主に、露地畑で大豆やサツマイモなどの作物も栽培していましたが、昨年ハウスを移動する際、パプリカだけに集中しようという決意。現在、中野さん



大きくて甘いパプリカ。噛めば果汁の多さも際立つ。



現在、12棟のハウスで栽培を行っている。赤、黄の品種ごとにハウスを分けている。



毎年、気候条件などを考慮しながら栽培方法を変えていく。

「今年で6年目になります
が、実はまだ『これが自分の
やり方』という決定的なもの
は見つかっていません。という
のも、気候や条件が毎年違う
ので、やり方を確立するのは
とても難しいんです。」と語る

毎年、試行錯誤を重ねていく

が所有するハウスは12棟。約30aもの広い土地に赤、黄、それぞれのパプリカの苗が所狭しと植えられています。飯南町のパプリカは、大きく、綺麗なベル型で定評があります。毎年春に定植し、7月末から収穫が始まります。ほぼ毎日収穫できるので、朝早くから夜遅くまで作業が続き、人手が足りないくらいまで忙しくなるとか。霜が降りる11月には株が枯れ、この年の栽培期間が終了します。農園で収穫するパプリカの量は年間約8tにものぼります。



株間が広いと風通しが良く悠々と成長するので品質の良いものが収穫できる。病気も出にくいので減農薬が可能になる。



今年は遮光資材を設置した。費用は飯南町が半額助成している。

中野さん。去年やったことを今年同じようにやってもうまくいかないことが多く、毎年、試行錯誤を重ねながら栽培を続けています。例えば、農薬の種類や、追肥の適切なタイミング、株をどのくらいの間隔にするか、何本仕立てが良いかなど、その都度試すことはたくさん。今年は最初に有機質なものを肥料と一緒に混



鮮やかな彩りを見せるパプリカ。最初はピーマンのように緑色の実をつけ、熟すと赤、黄、オレンジの色になります。パプリカは一般的に夏の高温になると色付きが早くなり、実が小さいまま収穫されることが多いのですが、標高の高い飯南町では他の地域に比べ気温が低いので色付きも遅く、ひとまわり大きくなるまでじっくり育てることができます。このような好条件を持つ飯南町での栽培を広め、産地化していこうという取り組みが始まっています。甘くて、肉厚で、ジューシーな飯南町のパプリカをぜひご賞味ください。



中野さんは「体力的にはしんどいことが多いが、生きていけると実感しながら今の生活を楽しんでいる」と語る。

ぜ、土作りにこだわりました。このように毎年、JAの担当者と一緒に考えながらパプリカ作りに挑戦しています。

生きているという実感

中野さんは、農業を「生業」としてやっていこうと覚悟して飯南町に移住しました。しかし、現実は一層厳しく、冬はアルバイトで生計を立てています。それでも、やめようとか帰ろうという気持ちにならなかった

飯南町をパプリカの名産地に

6次産業化の取り組みとして今年の冬季から、パプリカを使用したドレッシングの商品開発を、妻が中心となって本格的に行う予定です。それを足がかりに、今後は色々な販路を開拓し、生産の分野でも加工の分野でも同時に安定した収入を得ることが目標で

ことはありません。周りから教わったことを自分なりに受け止め、忠実に実行していくことで、パプリカの生産も地域の付き合いも軌道に乗ってきました。以前のように、ただ何となく生きている感じではなく、ここではしっかりと地に足をつけて生きていると実感できているからです。



「パプリカといえば飯南町」と言われるように、JAも町も新規就農者に対して支援を行っている。

す。そして、将来的に飯南町をパプリカの名産地にしたいと思っています。日本国内には、まだ圧倒的な産地がありません。だから、『パプリカといえば飯南町』と言われるようになるまで、一緒に生産していける仲間が欲しいですし、自分も協力して人材を育成できればと思っています。

基本方針

「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」への挑戦

「農業者の所得増大」や「農業生産の拡大」を達成するため、増加している加工・業務用需要を取り込むべく、外食・中食業界に対する直接販売に取り組みます。また生産資材価格の引き下げを実現するため、県域を超えた銘柄の集約や費用対効果による総合的な提案を行い、生産資材コストの削減に取り組みます。

「地域の活性化」への貢献

総合事業（営農・経済、生活・購買、信用、共済、厚生、旅行、介護、直売・加工等）を通じて、組合員と地域住民の生活インフラの一翼として役割を發揮します。

健全経営の為の取り組み

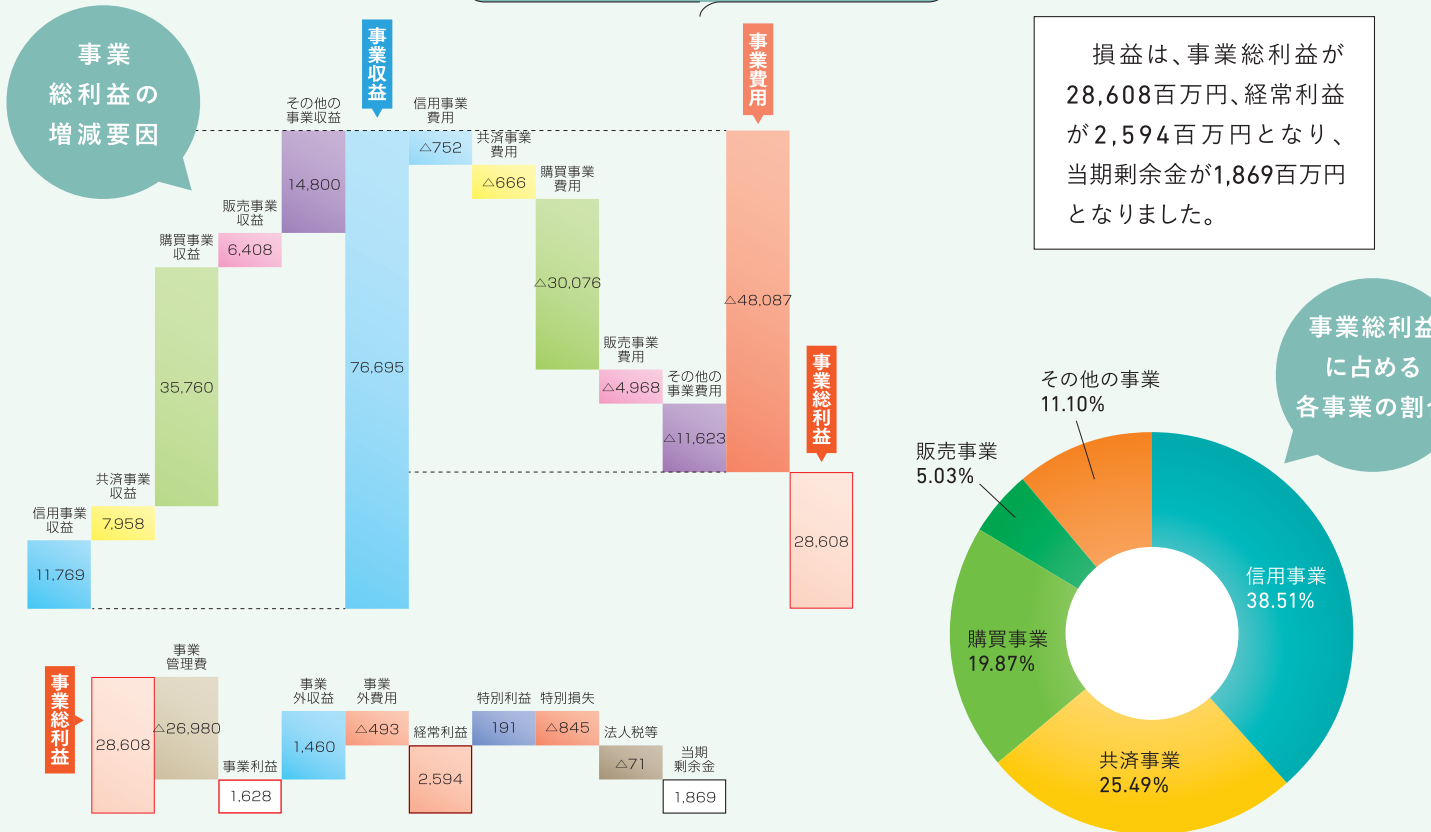
「健全な経営体質」と「透明感のある組織運営」を構築するため、財務体質の健全性向上に努め、リスク管理態勢の確立とコンプライアンスを重視した職場づくりに取り組みます。農協法の理事構成要件の改正もふまえ、業務執行体制を見直し、地域農業の担い手や実践的な能力を有する者の登用拡大に向けて取り組みます。自ら策定した自己改革の取組施策を着実に実践するため、組合員の皆さまとの対話を重視し、組織を挙げて取り組みます。

1

営業に関するご報告



損益の状況（平成30年度）



貸借対照表

(単位:千円)

科目		平成29年度 (平成30年3/31)	平成30年度 (平成31年3/31)
資産の部	1 信用事業資産	975,949,366	987,179,693
	2 共済事業資産	397,506	7,663
	3 経済事業資産	14,997,625	15,701,926
	4 雑資産	5,215,288	5,167,691
	5 固定資産	37,071,750	37,316,896
	6 外部出資	59,003,319	68,104,802
資産の部 合計		1,092,634,857	1,113,478,673

科目		平成29年度 (平成30年3/31)	平成30年度 (平成31年3/31)
負債の部	1 信用事業負債	991,018,624	1,011,549,963
	2 共済事業負債	5,744,488	5,487,169
	3 経済事業負債	5,115,669	4,928,414
	4 設備借入金	485,087	336,511
	5 雑負債	3,301,824	3,288,716
	6 諸引当金	7,935,763	7,918,073
	7 繰延税金負債	1,047,200	733,863
負債の部 合計		1,014,648,659	1,034,242,712
純資産の部	1 組合員資本	69,692,786	71,143,209
	2 評価・換算差額等	8,293,411	8,092,750
	純資産の部 合計		77,986,198
負債および純資産の部 合計		1,092,634,857	1,113,478,673

損益計算書

(単位:千円)

科目	平成29年度 (自平成29年4/1 至平成30年3/31)	平成30年度 (自平成30年4/1 至平成31年3/31)
1. 事業総利益	28,449,324	28,608,268
1 信用事業収益	12,233,870	11,769,657
2 信用事業費用	1,875,658	752,883
信用事業総利益	10,358,212	11,016,773
3 共済事業収益	8,379,262	7,958,664
4 共済事業費用	722,186	666,076
共済事業総利益	7,657,076	7,292,587
5 購買事業収益	35,926,078	35,760,631
6 購買事業費用	30,299,985	30,076,264
購買事業総利益	5,626,092	5,684,366
7 販売事業収益	10,544,403	6,408,070
8 販売事業費用	8,933,192	4,968,659
販売事業総利益	1,611,211	1,439,410
9 保管事業収益	221,626	239,373
10 保管事業費用	82,664	79,375
保管事業総利益	138,961	159,998
11 加工事業収益	5,789,549	5,729,639
12 加工事業費用	5,227,567	5,192,587
加工事業総利益	561,981	537,051
13 利用事業収益	2,039,940	2,050,556
14 利用事業費用	1,108,216	1,146,630
利用事業総利益	931,724	903,926
15 葬祭事業収益	3,745,670	3,766,303
16 葬祭事業費用	2,334,997	2,347,977
葬祭事業総利益	1,410,672	1,418,326

科目	平成29年度 (自平成29年4/1 至平成30年3/31)	平成30年度 (自平成30年4/1 至平成31年3/31)
17 宅地等供給事業収益	228,937	62,003
18 宅地等供給事業費用	202,360	42,889
宅地等供給事業総利益	26,576	19,114
19 農業経営事業収益	932,824	1,072,072
20 農業経営事業費用	1,052,509	1,042,874
農業経営事業総利益	△ 119,684	29,198
21 その他事業収益	1,458,278	1,292,704
22 その他事業費用	688,720	543,362
その他事業総利益	769,558	749,341
23 指導事業収入	622,287	585,607
24 指導事業支出	1,145,345	1,227,434
指導事業収支差額	△ 523,058	△ 641,827
2. 事業管理費	27,432,571	26,980,072
事業利益	1,016,752	1,628,196
3. 事業外収益	1,518,861	1,460,576
4. 事業外費用	345,711	493,978
経常利益	2,189,902	2,594,794
5. 特別利益	286,540	191,495
6. 特別損失	1,458,240	845,006
税引前当期利益	1,018,202	1,941,283
法人税等合計	408,458	71,582
当期剰余金	609,743	1,869,701
当期首繰越剰余金	489,001	679,627
経営基盤強化積立金取崩額	919,565	94,341
税効果積立金取崩額	8,060	-
当期末未処分剰余金	1,098,745	2,643,671

農業関連事業

購買事業(生産資材)

肥料・農薬・飼料について水稻肥料・農薬・飼料の銘柄集約による値下げ等を通じ、低価格による供給を進めた結果、生産購買品供給高は12,847百万円となりました。



2

事業別業況
(平成30年度)



販売事業

米の買取制度を30年産米も継続実施し、また畜産の増頭対策や購買者誘致、園芸重点推進5品目の拡大を継続的に取り組んだ結果、販売品販売・取扱高は37,752百万円となりました。

生活関連事業

購買事業(生活物資)

地産地消を基本に「安全・安心・新鮮」にこだわったJAらしい店舗運営や、県下統一企画による自動車・ガス・石油事業の各種セールを展開した結果、生活購買品供給高は21,067百万円となりました。



共済事業

共済渉外担当者(LA)を中心とした3Q訪問活動による保障ニーズに即した提案活動、支店共済担当者(スマイルサポーター)による迅速・丁寧な窓口対応、次世代層への出産育児を応援する「JAしまねこども倶楽部」の普及に努めた結果、長期共済保有高が3,438,480百万円、年金共済保有高が21,292百万円となりました。

信用事業

組合員・利用者のニーズを踏まえた各種キャンペーンや新商品の投入など、農業と地域利用者をつなぐ金融サービスの提供に取り組んだ結果、貯金が期末残高977,670百万円、貸出金が期末残高298,851百万円となりました。





農業振興支援事業での持続的営農への支援

平成30年度は、担い手の規模拡大や複合型営農の促進、新規就農者の初期投資の軽減対策を実施しました。

特に、園芸重点推進5品目の拡大支援やしまね和牛子牛の増頭対策等、担い手の複合型営農形態の促進に向けた取り組み支援に加え、新規就農者の育成確保、担い手の健康対策に3.6億円を活用し支援しました。

また、JAしまねによるリースハウス・リース園地のリース料負担軽減対策を実施し、規模拡大や新規参入の促進を支援しました。

3

農業振興
活動

4

地域密着型
金融への
取り組み

子育て応援宣言

平成28年10月より「子育て応援宣言」として、「地域の活性化」「子育てしやすい環境」を目指し、住宅ローン・マイカーローン・教育ローンで子育てを頑張る皆様を全力サポートしています。

住宅ローンでは、「子育て応援サービス」としてお子様の人数に応じた金利引下げを実施し、多くの方にご利用いただいています。

また、貯金商品では18歳以下のお子様がいらっしゃる方を対象とした金利上乗せ定期積金をご用意しています。



2019 DISCLOSURE

ディスクロージャー誌の本冊ではJAの経営内容や事業所の配置図など、JAの詳しい情報をご紹介します。ご要望の方には、信用店舗にて無料配布しております。また、JAしまねウェブサイトでも閲覧いただけます。

ウェブサイト <http://ja-shimane.jp/disclosure/>



JAしまね

PROFILE

設立	平成27年3月1日
本店所在地	鳥根県松江市殿町19-1
出資金	225億円
総資産	1兆1,134億円
単体自己資本比率	14.06%
組合員数	230,154人
役員数	72人
職員数	3,536人
事務所数	201



雲南地区本部 よこただんだん市場



産直へようこそ!!

可成り離れた地域の特産品「よこた」
 島根県内の産直店舗を「紹介」します。



「仁多米」コーナーは
 県外の方にも好評

経由していただけののだから。そして何よりも、日々ご利用いただいている地元の人々に支えられている。取材当日も、

直売所「よこただんだん市場」は豊かな自然が残る奥出雲町横田地区の人気の直売所だ。
 横田市街地より約1km、広島県福山市と島根県雲南市を結ぶ国道314号線沿いに店を構える同直売所は、県外からの来店者も多く、行楽シーズンには店舗前のスペースで地元そば打ちグループがそばの実演販売を行うなど、季節を通して来店者を楽しませる。
 中国やまなみ街道（尾道松江線）の開通当初は、314号線の交通量が減少し来店者が少なくなるのではと心配されたが「よこただんだん市場の来店者数に大きな変化はなく、今でもたくさんのお客様にご来店いただけている」と同直売所の運営を手掛ける(有)さあやファームの加納弘光さんは話す。心配された県外からの来店者は、以前から同直売所を訪れていた多くがリピーターとなり、移動の際わざわざ同直売所を



甘〜いトウモロコシ!

も同直売所を多くの方が訪れる理由の一つ。9月のおすすめはブドウ。昼夜の寒暖差が大きい奥出雲町産は抜群の甘さと評判で、同直売所も太鼓判を押す逸品。
 これからは、米どころの奥出雲町が全国に誇る「仁多米」をはじめ、秋野菜や手作りの漬物など奥出雲町ならではの商品が並び、店内は実りの秋に彩られる。



漬物など手作り品コーナーも
 充実の品ぞろえ

開店直後にお邪魔したにも関わらず、地元の方が次々と来店されていた。
 同直売所への出荷者は、平成15年のオープン時は80人だったが、現在は約200人が登録している。専業農家から趣味の家庭菜園をきっかけに出荷を始めた人など、様々な人たちから、毎朝バラエティに富んだ豊富な農産物が出荷される。その品質もさることながら「市況と比べて値段の変動が比較的少ない（加納さん）」の



スタッフの皆さんからは
 「花もオススメ!」と
 教えていただきました

店名：よこただんだん市場
 所在地：島根県仁多郡奥出雲町下横田1652-1
 TEL：0854-52-9234
 営業時間：10:00～18:00／土・日・祝9:00～17:00
 定休日：年中無休（但し、年末年始と1月～4月下旬の火曜日は休み）



JA
自己改革
実践中

JAグループ島根

JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介



JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

出雲市 NPO法人 つわぶきネット (特定非営利活動法人 障がい者就労支援ネットワークつわぶき)

平成25年6月に開所した障がい者支援事業所「NPO法人 つわぶきネット」では、市内の企業からの受託作業などを行うほか、利用者の方の工賃（時給）向上を図ろうと、菌床しいたけを栽培しています。平成27年2月に冷凍輸送コンテナを改装した「サンマッシュBOX」を導入し、同年7月に栽培を開始。大幅な工賃の向上につながり、翌28年度に2基目、平成30年度には3基目を設置しました。3基目の導入にJAしまね農業振興支援事業を活用しています。

菌床しいたけ栽培に適した環境は人間にとっても快適で、収穫等の作業も重労働は少なく安全です。特に「サンマッシュBOX」は普通のハウスと比べても保温性能が高く、1年を通して安定した環境で作業できます。

今では、収穫、出荷調整作業など、作業の9割以上は利用者の方がされています。作業工賃も栽培を始める前の倍以上になったそうです。

同法人支援スタッフの松本頼明さんは「利用者の皆さんの作業時間は決まっていますが、環境が整ったことで活躍していただけるチャンスが増えました」と成果を話してくださいました。



サンマッシュBOXについて説明する松本さん



一所懸命 青年連盟

くにびき青年連盟

くにびき青年連盟は、松江市管内の農業者やJA職員など108名で構成する組織です。地域農業の発展や地域の活性化、地産地消の推進などを目的に盟友が一丸となり、日頃より活動をしています。主な活動として、市内の幼稚園と米作り体験を通じた食農教育や親子芋掘り大会などの農業体験、農林水産祭等の各種イベントでの地場産農産物の販売やPRなどに取り組んでいます。また、平成29年度から、農業者へ出会いの場を創出しようと婚活イベントも開催しています。

このような活動を広くPRするためにFacebookを活用しています。ぜひ、ご覧ください！



園児と米作りを通して交流



各種イベントで地場産農産物をPR



婚活で出会いの場を創出

雲南

交通安全や命の大切さ伝える ひまわりの絆プロジェクト

京都府での交通事故で亡くなった男児が生前に育てていたヒマワリの種を全国各地で開花させ、交通安全や命の大切さを訴える「ひまわりの絆プロジェクト」。雲南市大東町の福間進さん(80)の自宅では元気なヒマワリが咲いています。

福間さんは以前から道幅が狭くて事故が多かったという自宅前の道路に自費で看板を設置するなどして注意喚起に取り組んでいました。2017年から島根県でも同プロジェクトが始まったことを知り、その年に10粒受け取りました。

昨年は6本、今年は20本が開花。花が終わった後は大東町下佐世にある玄寺の総代らが組織する「大東ひまわり」を通じて希望者に種を10粒ずつ分ける予定です。福間さんは「特別なヒマワリの輪が一人ひとりに広がっていき、安全運転を心がける人が増えてほしい」と各地で花開くヒマワリに想いを馳せます。



ヒマワリを育てている福間さん(左)と大東ひまわりのメンバー青木万昌さん

くにびき

更なる品質の向上を目指す！ 松江大根島牡丹協議会総会を開催

松江大根島牡丹協議会(足立利人会長・73名)は8月8日、八束支店で総会を開催しました。

当日は、会員や関係者など25名(委任状出席22名)が出席。冒頭、足立会長が「国内外で高い評価を得ているが、出荷数量は年々減っている。生産者同士で生産技術や意欲を向上させ、より多くの牡丹を出荷できるよう、協力していこう」と挨拶しました。

その後、足立会長を議長に選任し、議事を進行。平成30年度の事業報告や令和元年度の事業計画や収支予算、買取牡丹苗単価など上程された全議案について承認しました。

今年度は国内での販促のほか、ニューヨークや台湾など、国外での販促も計画しています。



隠岐

夏の夕市で賑わい

隠岐農産物生産者協議会は8月9日、隠岐の島町内にある施設「隠岐島文化会館」を会場に恒例の夏の夕市を開催しました。

毎年お盆前に開催し、「お盆は地元産品で」をコンセプトに地元で採れた農産品や加工品等を販売しています。今年は4組の生産者(団体含む)とJAしまね隠岐地区本部が出店し、お盆向けのシキミやサカキ、ホオズキなどの供え物やメロン、夏野菜といった農産物など多数の品揃えとなりました。

この日は約60名のお客様がお盆向けの商品などを求め来場され、にぎわいを見ることができました。年末には「年の瀬市」として、お正月向けの商品などを販売する催しを予定しています。一方で、開催にあたっての課題もあり、生産者の高齢化などにより、数年前の開催から見れば半数程度の出店者数となっていることなどから、開催規模が小さくなっています。今後、開催内容などを工夫、検討する中で、引き続き地域の皆様に喜んで頂けるよう、継続していければと考えています。



やすぎ

安来の梨 選果始まる

やすぎ梨生産部会は8月2日、下坂田町の梨選果場で今季の梨の選果をスタートしました。当日は県や市、運送業者等を招き、総勢60人の関係者が集まり開場式を開催しました。

2日から「幸水」、23日からは「二十世紀」の選果が始まり、今季は「幸水」4ト、「二十世紀」50トの出荷、約2,500万円の販売を計画しています。また、選果場では進物イベントを行っており、毎年多くの方が安来の梨を求めて訪れます。

同部会は26戸の農家が約10畝で梨を栽培しており、安来の梨は好評で市場での根強い人気があります。今後は、地元小学生の選果場見学や市長へ梨の贈呈を行う予定で、

岩田繁樹部会長は「まずは地産地消の拡大で梨の消費を増やし、今後は海外出荷も視野に入れ農家の所得増大を目指していきたい」と話しました。



斐川 「ひかわ女の夏まつり」 開催

8月8日、斐川文化会館で斐川地域の女性農業者らで組織する「アグリレディーズネットワーク・ヒロイン」が中心となり「第25回ひかわ女の夏まつり」が開催されました。積極的な農村女性活動を通して女性たちのネットワーク構築と地域の活性化を目指す活動の一環として行われ、今では夏を彩る行事として定着しています。会場では会員手作りの焼きそばや炊き込みご飯、トマトケチャップなどが販売され、舞台ではフラダンスやよさこい、日本舞踊など各団体が日頃の活動の成果を披露しました。また、JAしまね斐川女性部とJA職員も参加させていただき、「パプリカ」の曲に合わせてダンスを披露しました。ダンスの中盤からは、今年入組した新入職員と若手職員によるコント仕立ての劇を取り入れ、会場を盛り上げました。フィナーレでは、山根善治本部長と女性部の飯塚順子部長も参加し、同地区本部が提供した「飴」をまき、祭りを締めくくりました。



隠岐 どうぜん 支店を華やかに 「おもてなし活動」

JAしまねふれあい活動の一環として“おもてなし”をテーマに支店毎の取り組みを行いました。西ノ島支店では「みどりのカーテン」として日よけを兼ね一日を飾るように、朝顔・夕顔のプランタ植えを金融共済客だまり外側サッシ一面に配しました。支店入口花壇には、昨年の猛暑で残念にも枯れたシャクナゲにかわり、ガザニアを植えしました。海士支店では支店周辺の草抜・草刈などの清掃と、花壇やプランタに「サルビア・ペチュニア」などの花を植え気分一新を図りました。また、JA女性部も統一行動として「ゴーヤ苗による緑のカーテン」に取り組み、実ったゴーヤを支店金融窓口でプレゼントして喜ばれました。なお、西ノ島支店では昨年、町主催の「グリーンカーテンコンテスト」で、最優秀賞の栄冠に輝いていますので、今年も連覇を目指して取り組んでいるところです。



石見銀山 大田市の素材を活かす農水産加工セミナー 夏野菜の加工処理を学ぶ

大田市農林業振興協議会農産加工部会は、大田市長久町の石見銀山地区本部で「大田市の素材を活かす農水産加工セミナー」を開きました。

石見銀山産直出荷者協議会会員の他、大田市などの関係機関職員が集まりました。

福岡県の「有限会社 職彩工房たくみ」の尾崎正利代表取締役を講師に、余った夏野菜を漬物など保存処理することで有効活用する方法を学びました。

近年では、夏場の気温上昇の影響もあって、全国的に漬物（浅漬）による食中毒も発生しています。

セミナーは、適切な処理方法など実技を踏まえながら行われました。



講義を行う尾崎代表

出雲 「第14回出雲神話まつり」 JAの若手職員が参加

出雲神話まつり振興会と同実行委員会主催の「第14回出雲神話まつり」が8月10日、11日の両日開催され、10日に行われた「出雲盆踊り」に、JAしまね出雲地区本部の入組1、2年目の職員21人が参加しました。同地区本部では毎年若手職員が業務終了後に練習を重ねて踊りに参加し、地域振興に取り組んでいます。

当日は同JA出雲女性部の今市・荒茅・園支部なども含め約1,000人が踊りに参加。それぞれそろいの浴衣などを着て、出雲市今市町のくにびき中央通りを踊りながら練り歩きました。

11日には大津神立河川敷公園で花火大会が行われ、約8,000発の花火が出雲の夜空を彩りました。



出雲盆踊りを踊る職員

西いわみ

特設テントで ケイトウ即売会を開催

益田市でケイトウ栽培を手がけるJAしまね西いわみ女性部ケイトウ栽培グループ(グループリーダー佐々木孝子)は8月9日と10日の両日、同市駅前町JAしまね西いわみ地区本部前で真っ赤なケイトウの即売会を開きました。

メンバーらが育てたケイトウを広く知ってもらおうと平成30年から始めたものです。ケイトウは花の大きさごとに分け、3~4本ずつを一束にしてラッピングして販売しました。

当日はケイトウ60束のほか10種類以上の旬の野菜や果物なども揃え、特設テントでメンバーらが販売し、JA利用者や市民らが足を止め色鮮やかなケイトウを買い求めました。



島根
おおち

ふるさと味覚便発送終了

島根おおち地区本部では、毎年6月下旬から8月上旬にかけて「旬のふるさと味覚便」として、島根で育った農産物を全国へお届けしています。今年も、島根おおち管内で大切に育てられた、トマト、トウモロコシのほか、県内の農産物を準備し、桃太郎トマト約600ケース、スイートコーン約950ケース、アムスメロン約300ケース、アールスメロン約150ケースを県内を含め全国各地に発送しました。今後もより多くの方にふるさとの旬の味をお届けできるよう、販売数増加を目指し取組みを行ってまいります。

冬には「味の絆」として、石見和牛肉、石見高原ハーブ米、きねつき餅等、管内の農畜産物や加工品を全国へお届けします。



島根シャインの美味しさをシェアしよう♥

Instagram♥
フォトコンテスト

開催中

JAしまねでは、『ご縁の国しまね』で栽培された島根県産シャインマスカット【縁~えにし~】の魅力を発信していただくため、Instagramフォトコンテストを開催しています！

応募締切は令和元年9月30日。

皆様からの「縁映え(えにしばえ)」する作品をお待ちしています！

島根シャインマスカットに関する写真を
Instagramで投稿してね！



当選者に
シャイン
マスカット
プレゼント!!

詳細はJAしまねホームページにて
ご確認ください。

<https://ja-shimane.jp/archives/2042/>



いわみ
中央

お見事!浜田市野球スポーツ少年団 JAカップ 第36回 島根県学童軟式野球選手権大会 優勝!

去る8月17、18日に開催されたJAカップ第36回島根県学童軟式野球選手権大会で浜田地区代表の『浜田市野球スポーツ少年団』が3年振り2度目の優勝を果たしました。

決勝戦は優勝候補の一角で地元の松江・隠岐代表の城西レッドスターズとの対戦となりました。初回到4点を先制し試合を優位に進め、投げては原道夢君のコーナーをつくピッチングで強打の城西打線を封じ込めましたが、最終回二死から城西の粘り強いバッティングと守備の乱れなどから3点を奪われ、一時は逆転される状況まで追い込まれましたが、最後のバッターを空振り三振に打ち取り6-4でゲームセット!3年振り2度目の栄冠に輝きました。

スタンドの保護者の方々の大きな歓喜の拍手で閉幕しました。

暑い中での連戦で子供達も保護者の皆さんも大変でしたが、優勝という最高の結果に喜んでおられました。本当におめでとうございます。



タテのカギ

- ②『羅生門』『鼻』は——龍之介の作品です
- ⑥建築士が引いたり広げたり
- ⑧サケなどの卵の塩漬け
- ⑨平仮名もアルファベットもこれの一種
- ⑩便箋に引いてある線
- ⑪資源などを再利用すること
- ⑮王様の耳は——の耳
- ⑰セイゴやゼンゴと呼ばれるうるこを持つ魚
- ⑱長崎県の北の端にある島
- ⑳炭酸水のこと。クリーム——
- ㉑だしで煮た鶏肉を卵でとじてご飯にのせる

ヨコのカギ

- ①島根県の観光名所、——大社。神無月には日本中の神様が集まるのだとか
- ②大福餅の中身です
- ③10月の第2月曜は——の日。国民の祝日です
- ④絵画や色紙を入れます
- ⑤江戸時代の旅人の履き物。二足の——
- ⑦「カラスの足跡」と呼ぶシワができるところ
- ⑩騎手たちが1着を争います
- ⑫日本で3番目に広い湖
- ⑬釣りで使う擬餌針のこと
- ⑭一本釣りで知られる魚の一つ
- ⑰京都三大祭りの一つ、——祭は10月に行われます
- ⑲目で見える範囲のこと
- ⑳得の反対語

二重マスの文字を A～E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6	9		14	18	21
			E			
	7		11		19	
						B
2			12	15		
		10				
						D
3	8				20	
4			13	16		
5				17		
						A

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒697-0024 浜田市黒川町3741番地
JAしまね いわみ中央地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2019年10月5日（土）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「サファイア」

ボ	ウ	サ	イ	赤	ネ
タ	タ	キ	ロ	シ	ア
ン		ユ	ミ	ト	ゲ
		ツ	キ	ア	カ
		キ	メ	イ	ン
		フ	キ	ン	パ
		ク	リ	ゼ	イ
				キ	ン

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

けんこうさんぽ 健康散歩

スポーツの秋に筋トレをしてみよう

JA島根厚生連

早いもので秋になりますね。食欲の秋ということでついついご飯を食べ過ぎてしまう季節かと思えます。しかし、食べ過ぎと運動不足は肥満につながります。

肥満予防には食べ過ぎないことも大切ですが、スポーツの秋とも言うように体を動かすのに適した気候でもあります。そこで、今回は運動、特に筋トレに着目してみましょ。

運動は大きく分けて有酸素運動と無酸素運動があります。よく思い浮かべるのは、ウォーキングなどの有酸素運動だと思います。有酸素運動はエネルギー（カロリー）を消費し、肥満の予防や改善につながります。それに対して、無酸素運動は筋肉量を増やすことができる運動です。筋トレがこれにあてはまります。筋肉量が多いと基礎代謝が高くなり、代謝が上がることで消費エネルギーもより大きくなります。加齢や運動不足では筋肉量が減少してしまい、有酸素運動だけでは筋肉量の低下に抗いきれません。そのため、有酸素運動と無酸素運動を適度に組み合わせることが重要です。

自宅ですぐに始められる筋トレとしてスクワットがあります。下半身は大きな筋肉がまわっており、スクワットはその筋肉をまんべんなく動かすことができます。大きな筋肉を鍛えた方が筋トレの効率もよいため、時間のない方はスクワットなどから始めてみるのはいかがでしょうか。正しいやり方は、踵（かかと）に重心を置き、椅子に座するようにお尻からゆっくり降ろしていきます（つま先に体重をかけ、膝を前に出してしまう屈伸のようなやり方は怪我の危険性も高まるので、間違ったやり方です）。適切な回数は、1セット8～12回とし、1日3セット行います。これを週に2～3日のペースで行うのがオススメです。

しかし、ご高齢の方や、高血圧等の病気を患っておられる方は要注意です。急な運動は筋肉を痛める危険や、急激な血圧上昇などの危険があります。ウォーミングアップを十分に行い、必要であれば医師等と健康状態を確認して行いましょう。

運動後にはたんぱく質の摂取も大切です。秋の味覚のさんまなど、旬の魚にはたんぱく質が豊富に含まれています。筋トレで体を動かしながら、秋の味覚も堪能する！そんな健康的な秋を過ごせるとよいですね。



JAふれあいの集い2019

～ JAをよりどころに ～



8月24日、いわみ中央地区本部は江津市総合市民センターにおいて『JAふれあいの集い2019』を開催し、来賓に、江津市長をはじめとして県議会議員他を招き、560人の参集の中、盛大に開催されました。

前半の部では、昨年の「みどりを守る小学生作文コンクール」の入賞作品で浜田市立波佐小学校の青木莉子さんが発表し、堂々とした発表に会場からは大きな拍手がありました。また、活動発表として、JAしまね女性部フレッシュミズ部会会長 藤井泰余さんが「私たちの仲間づくり大作戦」と題して、活発なフレッシュミズ部会の活動の様子を話されました。前半の部最後は、日本笑いヨガ協会認定講師 キニンモント早苗先生の『人生100年時代を生き抜く』と題して講演があり、声を出して笑い体を動かしかっという間の1時間でした。

後半の部のオープニングは、いわみ中央女性部による『スコップ三味線』の演奏で始まり、続いて6支部の女性部と職員のふれあいステージで盛り上がりました。また、会場ロビーに設営された女性部員の手作り手芸品や加工品販売、JA特産品販売コーナーではブドウや梨が特別価格で販売され賑わいました。

このふれあいの集いは、教育文化活動の重要性を伝え、協同の心とその輪を更に広げ、強い絆の構築に寄与する大会として毎年開催しています。JA運動の原点である人と人の絆づくりを実践し、10年後も豊かで元気なJAであることを願い、JAふれあいの集い2019も盛会に終了しました。



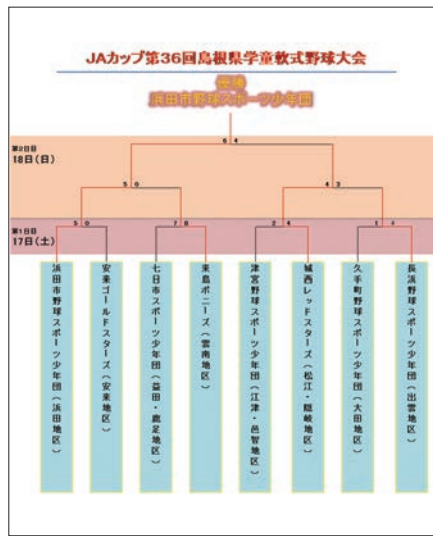
お見事！浜田市野球スポーツ少年団
JAカップ第36回島根県学童軟式野球選手権大会で優勝！

去る8月17、18日に開催されたJAカップ第36回島根県学童軟式野球選手権大会で、浜田地区代表『浜田市野球スポーツ少年団』が3年振り2度目の優勝を果たしました。

初戦は安来地区代表の安来ゴールドスターズと対戦し、エース原道夢君の投打の活躍により5-0で完封勝利を挙げ、翌日の準決勝では雲南地区代表の来島ポニーズを5-0と今度は大屋天之介君が完封勝利をし、決勝戦に勝ち上がりました。

決勝戦の相手は優勝候補の一角で地元の松江・隠岐代表の城西レッドスターズとの対戦となりました。初回到4点を先制し試合を優位に進め、投げては原道夢君のコーナーをつくピッチングで強打の城西打線を封じ込めました。最終回二死から城西の粘り強いバッティングと守備の乱れなどから3点を奪われ、一時は逆転される状況まで追い込まれましたが、最後のバッターを空振り三振に打ち取り6-4でゲームセット！3年振り2度目の栄冠に輝きました。

スタンドの保護者の皆さんも大喜びで子ども達を労い、歓喜の拍手で閉幕しました。暑い中での連戦で選手達も保護者の方々も大変でしたが、優



勝という最高の結果に皆さん本当に喜んでおられました。おめでと〜ございます！

JAカップ学童野球
浜田地区・江津邑智地区予選

JAカップ第36回島根県学童軟式野球選手権予選が各地区で開催されました。

江津・邑智地区予選については、7月27日・28日に9チームが参加し、優勝は津宮野球スポーツ少年団(9年ぶり)・準優勝は邑智スパローズとなりました。

浜田地区予選については、8月3日・4日に5チームが参加し、優勝は浜田市野球スポーツ少年団(3年ぶり)・準優勝は国府野球スポーツ少年団となりました。

両地区予選とも猛暑の中ではありませんでしたが、球児達は野球が出来ることに感謝し、一投一打に思い込め、熱いプレーを繰り広げました。この結果、優勝した両チームは、8月17日・18日松江市営野球場にて開催された県大会への出場権を獲得されました。

なお、県大会では見事、浜田市野球スポーツ少年団が優勝されました。



プランターでミニニンジンを作ろう☆夏休み工作 〜第3回 農業体験塾〜



農業体験塾第3回を8月3日、いわみ中央地区本部ふれあいホールにて、7家族20名の方に参加いただき開催しました。

初めに島本職員からプランター栽培、ミニニンジンの育て方のコツなど聞いた後、プランターにミニニンジンの種まきをしました。参加者は自分が植えたニンジンが立派になるようにと願いながら小さな種を一粒ずつまきました。

その後、夏休みの工作として「A子供雑誌『ちやぐりん』の記事活用で、『手作りジウロ』を作りました。ゾウを模った牛乳パックの工作で、ゾウの顔を描いたり、好きな色を塗りながら、参加した職員も一緒に工作を楽しんでいました。中にはレインボーカラーに塗っていた参加者もいました。

お楽しみ企画として、夏の定番スイカ割りを行いました。なかなかスイカも硬く当たっても割ることが出来ませんでしたが大変盛り上がりしました。終了後スイカを切り分けみんなで一緒に食べました。

農業体験と合わせて、夏休みの思い出の一つになったのではないのでしょうか。



智翠館高校 甲子園出場を激励!!

7月31日、いわみ中央地区本部は、津市の石見智翠館高等学校野球部に第101回全国高校野球選手権大会出場を応援し、米(玄米150kg・白米10kg)を贈りました。ほとんどの部員が寮生活をしていて、1人1日1kgもお米を食べるそうで、食べることも練習の一環だといえます。3年生の益彬斗さんと瀬尾基洋さんにお米を手渡し「江津市産のお米が食べてもらってぜひ甲子園で勝ち上がってほしい」と佐々木本部長は激励しました。



手作りお弁当で 暑気払い会

7月26日、いわみ中央地区本部ふれあいホールにて、福祉センター訪問介護事業所の「暑気払い会」を開きました。

日頃、暑い中ヘルパー活動をしている職員に対して、ささやかながら労いを兼ねて、今回はサービス提供責任者4名がピーマンの肉詰めや野菜の炊き合わせなど9品が詰まった手作りのお弁当を職員に振る舞いました。また、畑岡ヘルパーによる日本舞踊やゲームなど楽しみ英気を養いました。今後も福祉活動で地域に貢献できますよう、職員一同頑張っていく思いを共有しました。





ピオーネ本格出荷始まる！ 〜浜田市市長訪問〜

浜田市金城町特産の大粒系ぶどう「ピオーネ」の本格出荷を控え、金城町ぶどう生産者協議会の塚本守会長、いわみ中央地区本部大堂営農経済部長らが8月1日浜田市役所を訪ね、久保田章市市長に今年産の生産販売状況の報告を行いました。7月24日より出荷を開始し、今年産は生育進捗及び収穫も例年並みに推移しており、9月下旬から10月上旬まで続ける予定です。

協議会は約3ha（日28）の農地で栽培していますが、平成29年度、30年度リースハウス事業により現在は約4・5haの栽培面積となり、若い新規就農者も増え生産振興を図っています。

ピオーネを試食した久保田市長は「儲かる農産品として確立できるような後も頑張ってください。また、市として必要な支援をしたいので、このぶどう栽培を広げて欲しい」と激励されました。

金城町ぶどう生産者協議会 ピオーネ視察

7月31日、金城町ぶどう生産者協議会（塚本守会長）視察研修会が開催され、協議会員、浜田農業普及部、JA職員ら13名が参加しました。

岡山県新見市（JA阿新管内）を視察し、初めに豊永ぶどう選果場で実際に出荷されているピオーネを見学し、参加者は箱を実際に手に取って房形、粒張り、着色等を見ながら意見交換をしました。

その後は、JA阿新営農経済部園芸課林次長から阿新農協ぶどう部会の概要、出荷販売状況、新規就農者の確保への取り組みを聞き、続いて圃場見学を行いました。圃場では栽培環境や栽培方法などメモをとりながら聞き取りを行い意見交換しました。



夏野菜でピクルスを作ろう 〜きんさい市場消費者交流会〜

8月6日、きんさい市場消費者交流会を開催し、旬の夏野菜を使ったピクルス作りに30人が参加しました。

最初は、野菜生産者の声を直接消費者に届けようと、浜田市三隅町の峠田等氏から野菜の栽培ポイントなどの話を聞きました。その後、営農企画課の前田職員の指導でピクルスづくりに入りました。作り方のポイントの説明で殺菌処理の仕方学び、漬け液作りから始め、ズッキーニやパプリカなどそれぞれの野菜をカットし瓶詰めしていきましました。簡単に短時間で食べられるピクルス。お話しあれ！



試食した参加者は、「ズッキーニの歯ごたえと食感は最高！早速我が家でも作ります。」と感激していました。

教えて野菜作り!

2019年9月号

○ミニゴボウをプランターで育ててみては?



日本人はゴボウが大好きです。美味しいきんぴらゴボウは日本でしか味わえないそうです。近代になって、ゴボウは食べ方も次々に進化し、ゴボウをマヨネーズで和えたゴボウサラダ、きんぴらバーガーやゴボウバーグなど、最近ではスイーツやお菓子にもなっています。

この古くて新しい「ゴボウ」をもっと食べましょう。・・・とその前に作りましょう。春と秋に種から蒔いて栽培する野菜ですが、ちょっとしたコツさえ知っていれば栽培は難しくありません。特に若い人や初心者にもおすすめの作物です。

ゴボウは根を地中に50cm以上伸ばす大型の根野菜ですが、短根品種（ミニゴボウ）と言われる品種を選べばプランターでも育てることができます。特に40cm以下のサラダゴボウや若い葉と根を食べる葉ゴボウが、プランターや深型の植木鉢での栽培に向いています。

また、ミニゴボウには、カルシウムなどのミネラルや食物繊維が豊富に含まれる栄養満点の根野菜です。

春植えは3月下旬～6月上旬。収穫は7月上旬～9月下旬
秋植えは9月上旬～10月上旬。収穫は11月下旬～翌年2月下旬

1) プランターサイズと土づくり

- ・ベランダで育てるサイズは深さ30cm以上のプランターや植木鉢、大型の土嚢袋などを代用しても栽培は可能です。
- ・用土は市販の培養土を利用すると便利です。(市販の培養土には、若干の肥料が入っているものが多い)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
冷涼地				①①①①①①①①	②②②②②②②②				③③③③③③③③		④④④④④④④④	
中間地				①①①①①①①①	②②②②②②②②				③③③③③③③③		④④④④④④④④	
暖地				①①①①①①①①	②②②②②②②②				③③③③③③③③		④④④④④④④④	

2) 種まき

- ・プランターに種を蒔く時は、ゴボウの種を棒などを使い、深さ1cmの蒔き溝を作り1cm間隔に蒔きます。
- また、ペットボトルのキャップを利用し丸い跡をつけ重ならないように5～6粒づつばらまきします。
- 条間を20cm以上確保して2列に種を蒔きます。葉が大きくなるので、密植にならないようにします。

【例】「すじまき」 「ペットボトルキャップ利用」



○ポイント ゴボウの種が発芽しない?

ゴボウの種が発芽しない理由のキーワードは「光」と「水」です。1つ目の「光」はゴボウは好光性種子(光が必要)のため、発芽にはある程度の光量が必要です。覆土は深くても1cmまでにすることが発芽率を上げるポイントです。また、覆土が薄い時は水やりの時に種が表面に出る原因になってしまいます。種が乾燥してしまうと発芽しません。ゴボウの種は固い殻に包まれているため、もともと吸水性が悪いのが特徴。種を一晩水に浸してから蒔くと発芽率が上がります。

3) 水やり

種を蒔いた後は発芽するまでの間(1～2週間)は、土が乾かないよう十分に水やりをします。ある程度苗が大きくなったら、水やりは土の表面が乾いたときのみに行います。

4) 管理 (追肥・間引き・土寄せ)

ゴボウの追肥は間引きのタイミングで与えます。1回目は双葉が2枚出て1回目の間引きを行った頃に、株周辺に肥料を撒いて土と混ぜて株元へ寄せます。1回あたりに与える肥料の量は化成肥料A801(8-8-8)などを1株あたり10gほどです。また、2回目の追肥は、2回目の間引きのタイミング(本葉が2～3枚になった頃)に与えます。量は1回目と同様です。ゴボウは与える肥料の量が多いとすぐに雑草が生えて放置しておくとも苗の成長が阻害されてしまいます。雑草は早めに引き抜きましょう。間引き、土寄せについても葉がきれいに整った生育の良い株を残すのが間引きのポイントです。最終的に株間が7～8cmになるように生長を見て順次間引きます。この時株元がぐらつかないように土寄せを必ず行っておきます。

5) 収穫のタイミング

収穫のタイミングは品種にもよりますが、種を蒔いてから短根種で70～100日です。直径が2cmを超えると「ス」入りになるので早めに収穫します。直径が1～1.5cmで収穫するのがベスト。早めに収穫すると生でも食べられるほど柔らかく香りも良いので、時期を逃さないように!プランターでの収穫は、露地栽培のように葉を先に切り落とさないで、葉柄を掴んで引き抜きます。

※全体を通してのコツ

- ・ゴボウは気温が30℃を超えても耐えることができます。厳寒期も葉や茎は枯れてしましますが、根が枯れることはありません。
- ・種まきから発芽までの間水やりを行い土を乾燥させないこと。
- ・ミニとは言え根が深く育つので、土の排水性と通気性をよくする。
- ・連作では土壌病害が必ず発生するので連作は避けましょう。
- ・ゴボウに発生する害虫はアブラムシと根コブセンチュウです。
- ・特に、アブラムシは、土壌の窒素分が多い条件下で多く発生する傾向がある。
- ・発芽した後の害虫飛来のために、寒冷紗や防虫ネットを張る。



島根県西部農林振興センターからのお知らせ

令和元年度 秋季狩猟免許試験開催のお知らせ

鳥獣被害に困っているのに対策の仕方が分からない…。対策を行っているのに被害があまり減らない…。と悩んでいらっしゃる方も多いのではないのでしょうか。鳥獣被害対策の方法は、大きく分けて以下の3つがあります。

集落環境整備



誘引物除去 不要果樹伐採



不嗜好作物への転作 …等々

侵入防止柵設置



ワイヤーメッシュ+電気柵



電気柵 …等々

加害個体捕獲



箱わな



くくり罠

防除対策をしても出没を続ける鳥獣に対しては、捕獲も有効な対策のひとつとなります。しかし、野生鳥獣の捕獲は原則、**狩猟免許が必要となり、このたび下記の日程で狩猟免許試験が実施されます。**

今年度内に狩猟免許を取得できる最後の機会です。ぜひ取得を検討してみてください。

【秋季 狩猟免許試験】

日 時：令和元年9月28日（土）9：00～

場 所：浜田合同庁舎

手数料：3,900円（わな免許の場合） 5,200円（第一種銃猟免許の場合）

※銃猟の場合は銃の所持許可が必要。詳細は最寄りの警察署に相談してください。

【狩猟免許事前講習会】（※事前講習会の申込みは猟友会まで）

<浜田会場>

日 時：令和元年9月15日（日）9：00～15：30

場 所：サンマリン浜田（浜田市原井町3050-9）

受講料：6,000円

申請の方法やお問合せは、島根県西部農林振興センター又はお近くの市役所・各支所農林部署まで。
連絡先：島根県西部農林振興センター林業振興課 TEL：0855-29-5604

産直トピックス

8月の営農塾

【第22回】 8月7日

座学『共生作物を上手に利用』

それぞれの野菜のコンパニオンプランツの組み合わせと効果について、島本職員より説明が有りました。コンパニオンプランツの効果には、病害虫の防除や成長を促進したり必要とする養分を供給し、また空間を有効活用出来るなどがあることを学びました。座学後は、



圃場へ行き、農園の片づけを皆さんでしました。

○コンパニオンプランツとは：野菜には、それぞれ集まりやすい特定の虫がいて、出やすい病気なども異なり、こうした特性を利用して、違う種類の野菜と一緒に栽培することで病害虫を抑えたり成長を助けるといった、良い組み合わせを言う。

【第23回】 8月21日

座学『最終講座』

今回は、1年間お疲れ様でした。という事で野菜に関することわざの説明と野菜の種まき・植えつけ・収穫時について学びました。その後、圃場へ移動し、畑の片づけをして1年間を終了しました。8月28日には閉講式が行われます。



【ことわざ例】

○芋茎（いもがら）で足を衝（つ）く。

簡単なこともわからない、世間知らずな人を笑った言葉
○大根の頭にごぼう尻
野菜の美味しい部分の表し方



8月の育成塾

【第4回】 8月20日

今回は、鳥獣対策一般や病害虫防除について、端境期対策品目についての講義がありました。

始めに西部農林振興センター 林業振興課の柿沼周樹氏より鳥獣対策一般について話がありました。昨今、いのししや猿、ヌートリアなどの鳥獣被害が多い中、特に出没しにくい環境づくりや種類に合わせた対策法など事例も加え、説明をされて参考になりました。

また、病害虫防除についても同センターの糸原萌氏から説明を受け、病害虫の発生要因である主因への対策、素因への対策、誘因への対策など解り易く説明されました。塾生からの質問もあり、熱心に受講されていました。



あぐリニュース

産直店舗 「お盆セール」で賑わう！

いわみ中央産直市場では、8月10日から13日の4日間、毎年恒例のお盆セールを行いました。早朝店頭では、お盆用の花を買い求める来店者の行列ができ、店内も季節の野菜や果実を求める人で賑わいました。また、特設テントコーナーでは、営農部職員が島根和牛の販売を行い、お陰様できんさい市場黒川店だけで約4,000人の来店者が有りました。多くのご来店有難うございました。



営農塾3期生 閉講式

いわみ中央地区本部は、8月28日に平成30年度きんさい市場営農塾3期生の閉講式を当地区本部ふれあいホールで行い、佐々木豊本部長より塾生6名一人一人に修了証書が手渡されました。塾生は、昨年9月に入講し、今年8月まで23回の講義と実習を受け、その間15品目の作物を作り、栽培技術を身に付けてきました。「今までは、自分なりの考えで野菜栽培をしていたが、受講したお蔭で農業に対する考え方も変わったように思う。1年間学んだことを思い出し、たくさんの野菜を作っていきたい。」「荒廃しつつあった畑を今度は母に代わって自分が美味しい野菜を作って食べさせたい。」など感想を述べました。そして講義の様子をスライドで見た後、島本宏講師の講評を聞き1年を振り返りました。最後に自分たちが育てた野菜を使ったメニュー（野菜のキーマカレー、ポテトサラダ、ジャガイモのチーズケーキ）で会食しました。



3期生の中にはすでにきんさい市場の会員になり出荷している人もいますが、さらに卒業生の野菜がきんさい市場にたくさん並ぶことを期待しています。

サプライズ



太陽いっぱい浴びたたくさんのミニトマトの中に、なぜかかわいいさくらんぼが1つ。かわいくて食べられないよ。

浜田市金城町 岡本 徳子様



自然のイタズラで平べったくなっちゃった。壁に挟まれたスイカちゃん、壁板を外して取り出しました。

江津市和木町 南部 一様

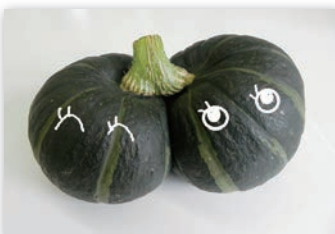


「おいも3兄弟！」



「ハート ♡」

浜田市金城町 岩本美佐子様



「夫婦かぼちゃ」

江津市松川町 佐々木建也様



鯛のウロコで手作りブローチ 〜三隅女性部岡見支部〜

JAしまねいわみ中央女性部 岡見支部（石本まゆみ部長）は7月22日に手芸教室を開催しました。今回の手芸では花のブローチ作りを行いました。花のブローチと言っても鯛のウロコを使つてのブローチ作りです。すぐに割れたりするのではないかと恐れそうですが、かなり丈夫で驚きました。作り始めてみると一枚一枚張り合わせていくかなり細かく難しい作業でしたが、みなさん楽しく会話しながら、思い思いのブローチを作り上げました。お互いのブローチを見ながら「素敵だね！今度は自分もそうしてみよう！」など参考にしていました。

今回作ったブローチはふれあいの集いの展示コーナーで展示されました。



スタミナ料理で残暑を乗り切る！ 〜青葉会〜

いわみ中央女性部青葉会（河上博子部長）は、8月28日いわみ中央地区本部調理室にて、スタミナ料理教室を開催しました。メニューは家の光2019・7月号より、切り干し大根のレモン風味ハリハリ漬けやトマトとオクラのサンラータン、JAしまねより7月号より、とうもろこしごはんと簡単豚肉サツパリ煮など、5品を作りました。

出来上がった料理を試食しながら、「とうもろこしごはんは初めて食べたけど、もちもちしておいしいね。」など、久しぶりに会った仲間同士話が弾みました。

夏の盛りは過ぎていましたが、雨が降ったりとまだまだ蒸し暑い日々の中、食欲も減退している時期です。ウヤカラシの辛味を利かせたメニューを選び、食欲をそそるスタミナ料理で乗り切りたいですね。熱中症予防にも、きちんと食べる事が大切です！



人形供養祭・夕涼み会

いわみ中央女性部（徳田マスエ部長）は、8月31日虹のホールはまたで行われた人形供養祭に18名で参列し、大切にされてきた人形に対し供養を行いました。また、その後行われた夕涼み会では、ふれあいの集いでも披露したスコップ三味線をステージで演奏しました。

いわみ中央女性部で取組み始めた『スコップ三味線』は3年を迎え、2曲目に挑戦しています。今回は、屋外のステージでしたので「屋内と違い響きが弱いか？人数が少ないかな？」など不安がありました。練習を重ねました。これからの各種イベントへ参加し披露できる事を目標として頑張っていきます。





がんばれ! 夏キッズ!!



親子の集い 「陶芸教室」 〜江津女性部〜

いわみ中央女性部江津（平川節美部長）は、7月21日江津市二宮町の宮内窯にて、第34回親子の集いを開催しました。

夏休みを迎えた小学生の親子25名が参加し、陶芸教室を行いました。参加者は、用意してきた好みの型や紫陽花の葉の葉脈で飾りをつけたりと、仕上がりをイメージしながら作品を作っていました。参加者の中には『出来上がったら、お父さんにプレゼントするんだ!』と、日頃の感謝の気持ちを込めながら形を整えていました。最後は4色の釉薬の中から色付けをして完成です。1か月後、窯だしされ届く日が楽しみです。

参加した親子は、暑い中での作業でしたが、陶芸を通してふれあう時間を持てたことと思います。平川部長は『最近の子供たちは習い事などで忙しい毎日をお過ごししています。親子の集いが、ゆっくりと触れ合うきっかけとなるようこれからも続けていきたい。』と話しました。



子どもを台所に立たせよう! 子どもと一緒に弁当作り、弥栄女性部

いわみ中央女性部弥栄（徳田マスエ部長）は8月1日に「子どもを台所に立たせよう」と題し「子どもとお弁当作り」を開催しました。



台所で一緒に料理をすることで、人に喜んでもらうためという感覚を持ってもらい、それを褒めてあげます。するとまた人に喜んでもらえるよう頑張る!という良い循環を作る事ができます。そしてその実践として地元の小学生たちとお弁当作りをしました。

小学生たちに料理の作り方などを教えながら、楽しく調理をすることができました。そして弁当を家に持って帰って「家族にも食べてほしい!」や「今度はもっと別のメニューを作ってみたい」などと話をしていました。今回の企画をきっかけに家庭でも家族と一緒に台所に立つてほしいと思います。



T(とびぎり)T(たのしい) ちゃぐりんふえすた 三隅で開催!



J Aしまね女性部フレックシユミズ部会（藤井泰余部長）は、7月28日に中国電力（株）三隅発電所ふれあいホールを会場に、いわみ中央管内から9家族26名の親子に参加いただき「ちゃぐりんふえすた」を開催しました。

J Aの子供向け雑誌『ちゃぐりん』掲載のサイエンスクッキングを参考に、紫キャベツから色素を取り出し、レモンなどの酸性食品と合わせた時の色の変化を実際に体験しました。また、ペットボトルを利用した『ガチャガチャ』作りでは、子供達は中に入れるピンポン玉に絵を書いたり色を塗ったりする中、保護者の方はペットボトルをカッターで切り取る作業に悪戦苦闘していました。

昼食には、ニコ・ニコおむすび大作戦!を行い、自分でどうもろこしご飯のおむすびを握り、部会員が作った味噌汁と一緒に皆で楽しくいただきました。

参加した親子からは「キャベツの紫色が変化するのは、楽しかった。それに、夏休みの実験と工作が一度に終わり助かったあ〜!」と感想をいただきました。



令和元年9月1日付け人事異動

企画総務部 総務課

職能	氏名	異動後			異動前		
		新部署	職位	備考	旧部署	職位	備考
管理職	松原 啓二	統括部長兼企画総務部長	部長		金融共済部兼旅行センター長	部長	
管理職	三浦 聡	金融共済部長兼旅行センター長	部長		浜田支店	支店長	
管理職	塚田 幸輝	浜田支店	支店長		江津西支店	支店長	
管理職	後山 敦己	江津西支店	支店長		浜田支店	支店長補佐	
管理職	吉原 準二	営農経済部 営農企画課	課長補佐	TAC	金城支店 渉外課	課長補佐	信用渉外
管理職	佐々木千秋	江津支店 江東事業所	所長補佐		雲城出張所 業務課	業務課長	
管理職	吉田 篤行	浜田東支店 業務課	支店長代理業務課長		企画総務部 総務課	課長補佐	
管理職	河崎美智恵	雲城出張所 業務課	業務課長		浜田東支店 業務課	支店長代理業務課長	
正職員	佐伯真由美	金城支店 渉外課		信用渉外	旭支店	(支店長付)	地域担当
正職員	中山 春美	金城支店 業務課			江津西支店 業務課		
正職員	長谷 真菜	江津西支店 業務課			江津支店 江東事業所	係長	
定期職	的場 信也	農林業支援センター		出向	営農経済部 営農企画課		TAC
定期職	田村 豊	旭支店	(支店長付)	地域担当	農林業支援センター		出向
定期職	永澤 和恵	浜田支店 業務課			雲城出張所 業務課		
定期職	山根 由美	雲城出張所 業務課			金城支店 波佐事業所		
定期職	東 照美	金城支店 波佐事業所			三隅支店 業務課		
定期職	高橋佑未子	江津西支店 業務課			浜田支店 業務課		
定期職	藤本 弥緒	浜田西支店 業務課			企画総務部 総務課付		
パート職	江川 裕子	三隅支店 業務課			金融共済部 金融業務課		

退職者 (令和元年8月31日付け)

職能	氏名	旧部署	職位	備考
正職員	佐々木重盛	統括部長兼企画総務部長	部長	定年退職
正職員	吉田 昌三	企画総務部	次長	定年退職
定期職	古井 博美	企画総務部総務課付		雇用期間満了

正職員登用 (令和元年9月1日付け)

職能	氏名	新部署	備考
正職員	吉田 伸子	浜田支店 業務課	定期職からの登用

採用 (令和元年9月1日付け)

職能	氏名	配属部署	備考
正職員	楨本 譲治	営農経済部 農産課	9/24~

育児休業から復帰 (令和元年9月1日付け)

職能	氏名	配属部署	前部署
定期職	遅越 香	営農経済部 資材注文センター	浜田東支店 業務課
パート職	榎 ゆき恵	企画総務部 企画管理課	金融共済部 共済課



おたより

コーナー

🌸 どうもろこしごはん ほのかに甘くてとても食べやすかったです。

どうもろこしごはん あちこちで作ったよ！の声を聞きました。夏の季節ならではの味ですね。

◎「教えて野菜作り」ページ

楽しみにしていて、「なるほど!」「そうなん?」と一人で納得したり、疑問に思ったりしています。一年生として頑張っています!

🌸 ワンポイントや手入れ等必ずファイルしています。

🌸 年々、野菜に興味がわいてきて、いつかアスパラガスを自分で作ってみたいです。

参考にしていただきありがとうございます。ぜひ、おいしい野菜を作ってください。

キラリ いー顔！ 浜田市旭町 島根県雪合戦連盟

島根県雪合戦連盟（岡村宏会長）は、「雪を楽しみたい！」という思いから平成10年に旭町の有志で雪合戦大会を立上げ発足しました。雪合戦は厳格なルールの下で行われ、子供から大人まで楽しめる「チームワークのスポーツ」であり、冬はもちろん夏にも大会がおこなわれます。

小さいころから始められるので「保護者や地域の人達との繋がりを深める」ことになり、将来は子供達に地元に残って活躍してほしいとの思いもあります。

最近是全国大会で旭のチームが好成績を残しており、来年の3月の全国大会にむけて地元から優勝チームが出るように「お米をしっかり食べて、雪合戦で体を鍛えて」頑張っています。



福祉センター通信

～JA福祉用具貸与からのお知らせ～

今回は体位変換器ナーセントパットAのご紹介をさせていただきます。

ベッド上での姿勢を正して、床ずれや身体機能の悪化を防ぐために使用する福祉用具のことです。ご使用の際には同じ姿勢が続かないように体位をこまめに变えて、負担を分散してあげましょう。

- ナーセントパットA
- 内容：大ピース（850g）×1
- 小ピース（450g）×2



介護認定を受けられている方は月額¥2,160の1割～3割の負担でレンタルできます。
 詳細は福祉センター 山本・其原にお問い合わせ下さい ☎22-8918

年金相談会

- 10月3日(木) 浜田東支店
午後3時から午後7時まで
- 10月29日(火) 雲城出張所
午後3時から午後7時まで
- 11月9日(土) 浜田支店
午前10時から午後3時まで
- 11月19日(火) 江津西支店
午後3時から午後7時まで

メガネ・補聴器巡回スケジュール

開催日	時間	会場
10月7日(月)	午前9時から午後12時まで	Aコープやさか前
10月8日(火)	午前9時から午後3時まで	長浜事業所
10月9日(水)	午前9時から午後3時まで	旭 木田店舗前
10月10日(木)	午前9時から午後3時まで	上府事業所
10月11日(金)	午前9時から午後3時まで	浜田西支店
10月15日(火)	午前9時から午後3時まで	三隅支店
10月21日(月)	午前9時から午後3時まで	江津西支店
10月23日(水)	午前9時から午後3時まで	旭 旧市木事業所前
10月24日(木)	午前9時から午後12時まで	三隅 旧岡見事業所前
10月25日(金)	午前9時から午後12時まで	三隅 旧井野事業所前

ご自身・ご家族のメガネ調整、補聴器点検等気軽にお立寄り下さい!!

酸性土を矯正し、排水を良くする ホウレンソウ

あなたもチャレンジ! 家庭菜園

園芸研究家 ● 成松次郎

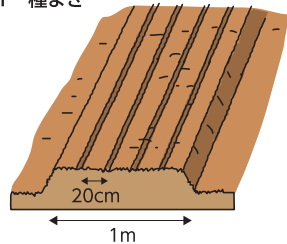
ビタミンやミネラルを豊富に含む緑黄色野菜で、特に日本人に不足しがちなビタミンB群や、造血作用に関係する葉酸、そして鉄分とカリウムが多いのが特徴です。生育の適温は、15～20度で冷涼な気候を好み、耐寒性は強いが暑さには弱く、25度以上になると生育が衰えます。関東以西の地域では、夏取り以外は栽培できますが、冬取りの栄養価が高く、甘味も増し最もおいしい季節です。

【品種】 秋取りは生育の良い「アトラス」（サカタのタネ）、「オーライ」（タキイ種苗）、「ハンター」（カネコ種苗）など、冬取りは寒さに強い「ソロモン」（サカタのタネ）、「トライ」（タキイ種苗）などが良いでしょう。

【畑の準備】 ホウレンソウは酸性土を嫌うため、事前に1平方m当たり苦土石灰150gを畑全体に散布して、よく耕しておきます。次に、幅1mの広幅の栽培床を作り、1平方m当たり化成肥料（N-P-K=10-10-10）150gと堆肥2kgを土とよく混和しておきます。

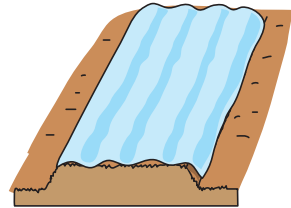
【種まき】 適期は9～10月。栽培床は平らにならし、条間20cm、深さ1～2cm程度のまき溝を切り、まき溝を板切れを立てて平らな溝に仕上げ、1cm間隔に種をまきます（図1）。1cmほど覆土し、たっぷり灌（かん）水します。そして、風雨や害虫

図1 種まき



土を軽く盛り上げて幅1mの栽培床を作る。板切れなどで幅2mm、深さ1～2cmの種まき溝を付け、1cm間隔に種まきする

図2 べた掛け



風雨や害虫から守るために、不織布をべた掛ける

から幼苗を守るため不織布をべた掛けします（図2）。

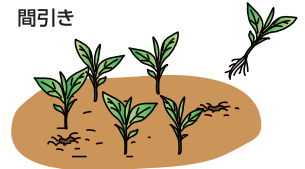
【管理】 1回目は発芽そろい時に込み合っている所の株を抜き取り、その後、2～3回に分けて最終的に株間を4～5cmにします（図3）。栽培期間が長い10～11月まきでは、草丈10～15cmのころ、1平方m当たり30gを追肥し、株元に軽く土寄せします（図4）。

【病害虫の防除】 ヨトウムシは見つけ次第、捕殺し、アブラムシには、気門閉鎖剤（商品名：粘着くん液剤）などで防除できますが、不織布をべた掛けして飛来を予防すると良いでしょう。

【収穫】 草丈が25cmくらいを収穫の目安にしますが、30cm程度になってもホウレンソウ本来のおいしさは変わりません。株元の根を鎌やはさみで切り取ります。直売所などに出荷する場合は、枯れ葉を除いて300gくらいに束ねます。

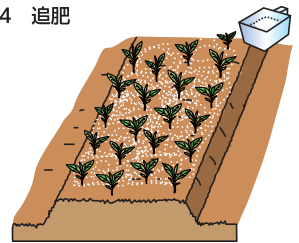
※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

図3 間引き



発芽そろいの後、密生部を間引く。その後2～3回に分けて間引き最終的に1本立てにする

図4 追肥



草丈10～15cmのとき、化成肥料を条間にまき、移植などで土寄せする

理事会情報（7月30日開催）

【協議事項】

- ①令和元年9月1日付け機構改革の実施について
- ②令和2年2月22日付け機構改革の実施について
- ③JAしまねにおける営農・経済事業改革に向けた取組について
- ④「令和2年度島根県農業政策および予算に関する要望」について（第2次案）
- ⑤令和元年度補助事業の実施について
- ⑥令和元年度島根米の諸条件の設定について

- ⑦簡易ガス事業における保安規程の一部改正について
- ⑧信用事業方法書（為替取引）の改正について
- ⑨信用手数料の改定について
- ⑩長浜支店にかかる土地および建物の取得について
- ⑪組合と理事との取引（契約）の承認について
- ⑫系統団体および関連団体等への常勤役員の就任について
- ⑬平成30年度期末決算監事監査報告書における整備改善を要する事項（個別意見書）への回答について

（紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）

農業者年金基金からのお知らせ

農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

国民年金 + 農業者年金

◎保険料はいつでも変更できます。

月々2万円から6万7千円まで

◎こんな方が加入できます。

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事
- ③20歳以上60歳未満の方

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、

所得税や住民税等の節税になります。

◎積立方式だから自分がかけた金額は年金として生涯もらえます。

(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎政策支援(保険料の国庫補助)が受けられます。

例：認定農業者で青色申告者等
35歳未満の人は10,000円(5割)補助

独立行政法人農業者年金基金

専門相談員 TEL.03-3502-3199

企画調整室 TEL.03-3502-3942

農業者年金の内容やご相談については、最寄りの農業委員会やJAしまね各地区本部または農業者年金基金にお問い合わせください。

楽しい、おいしいがいっぱい!!
年に一度の大イベント!

ワインまつり

10/19(土) 10:00~17:00
10/20(日) 9:00~16:00

2019ぶどう収穫感謝祭 SHIMANE WINERY

BBQ

ワインまつり特別
2日間先着
計1,500食限定

バーベキュー
特別価格
一人前 500円(税込)

- 島根和牛
- 豚肉
- おにぎり
- 野菜のセット
- ソフトドリンク
飲み放題

バーベキューハウス
シャトー 弥山

※写真はイメージです。※バーベキューハウスシャトー弥山は10時30分から18時30分まで

被災地応援チャリティー
ビンゴ大会
各回先着
200枚 1枚 100円

島根県農業協同組合・JAアグリ島根 提供
毎年恒例
**島根の新米
すくい取り!!**

10/19(土)

★中庭 出雲農林高校
「ふれあい動物園」がやってくる!!
出雲商業高校ダンス同好会
石見神楽(大尾谷社中)
出雲農林高校太鼓部

10/20(日)

カミアリージャーショー
フォーゲルパークバードショー
大社高校吹奏楽部
石見神楽(下原西組神楽社中)

10/19(土)・20(日)

2日間開催

ワインまつり
限定品

蔵出しワイン
試飲即売会

ミニ縁日

キャラクター&スーパーボール
すくい・輪投げ・射的など

**買物特典
大抽選会**
空クジなし

期間中、島根ワイナリーでのお買物3,000円で1回抽選できます。

テント市

地元のおいしいものや、アクセサリー、寄植など

青空市

青果物・海産物・農畜産物など出店

島根ワイナリー

島根県出雲市大社町夢根264-2
TEL 0853-53-5577

*天候・諸事情によりイベントの内容、時間を変更または中止とする場合がありますので予めご了承ください。*お酒は20歳になってから。*飲酒運転は法律で禁止されています。

しまねうれしび

料理研究家 土井小百合

JALしまねびより

本誌は地球環境に優しい植物油インクを使用しております。



なすと鶏肉の梅肉和え



●材料

- 長なす…………… 1本
- 〔鶏むね肉…………… 1枚
片栗粉
- 貝割れ…………… 1/2
- 〔ポン酢…………… 大さじ1~2
生姜絞り汁…………… 少々
梅干…………… 1個
- 塩…………… 少々



●作り方

- ①長なすは、縦半分、長さ5~6cm、縦4等分する。
- ②鶏むね肉は皮を除き、5cmの削ぎ切りにして片栗粉を薄くまぶす。
- ③熱湯に塩を少々入れ、なすを4~5分ゆでる、網じゃくしですくい、氷水につけ、なすをゆでた湯で鶏肉をゆで、氷水につける。
- ④ボールに水気をしぼったなす、鶏むね肉、貝割れ、ポン酢、生姜絞り汁、たたいた梅干を入れ混ぜる。

★生姜、ポン酢味であっさりした味です。パサつきがちなむね肉は片栗粉をつけてしっとりさせています。秋なすがおいしい残暑が残る秋にピッタリな一品です。

黒ごま団子



●材料 (10個分)

- だんごの粉…………… 130g
- 砂糖…………… 大さじ2
- 黒すりごま…………… 大さじ3
- 水…………… 160cc
- こしあん…………… 200g

●作り方

- ①あんを10個に丸めておく。
- ②あん以外の材料を耐熱容器に入れ混ぜとく。
- ③ラップをふんわりしてレンジに2~3分かけ、つくように混ぜる。
- ④③が熱いうちに丸めたあんを包む。



★簡単に電子レンジでできる和菓子です。こしあんを包みこんだゴマだんごです。ミニサイズなので、デザートを一品加えたいときなどに便利です。熱いうちにあんを包むときれいに仕上がります。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は「第9回高校生の神楽甲子園」に初出場した、島根県立飯南高等学校神楽愛好会の演目【日本武尊】のワンシーンです。有志のクラブ活動として1~3年生の生徒8人が愛好会を発足。地元で活動する飯南神楽団に指導を仰いで稽古を重ねました。熊襲の賊長「川上猛」を打ち倒すシーンでは、大勢の観客が沸き立ちました。

編集後記

我が子が通う小学校では、夏休みの間に各教室へのエアコン設置が完了したそうです。これまでエアコン無しだったことに驚くとともに、子ども達の学習環境が改善されたことに安心しました。夏のうだるような暑さなど「異常」気象が恒常化しつつある昨今、昔と今は違うことを理解し、家庭でも職場でも適切な環境整備に努めなければならないと改めて感じます。(和)

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。



JALしまね 公式ホームページ
https://ja-shimane.jp/

2019年9月18日付発行 (月1回発行)
編集/JALしまね ふれあい福祉課・いわみ中央地区本部
発行/島根県農業協同組合 いわみ中央地区本部 ふれあい課
〒697-0024 浜田市黒川町3741番地 TEL.0855-22-0202 FAX.0855-23-3184